

事務連絡
平成26年9月16日

県グループホーム協議会
会員事業所 各位様

始良伊佐グループホーム協議会
会長 橋口 るみ子
(公印略)

『認知症セミナー2014』のご案内について

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。皆様方におかれましては、平素より認知症高齢者の暮らしの充実はもとより、地域福祉の充実に幅広くご活躍されておられることに、心より敬意を表します。

早速ですが今年度、始良伊佐グループホーム協議会では『認知症セミナー2014』と題しまして講演会を下記の通り計画致しました。

今回の講演会では、詩人で児童文学作家であられる藤川幸之助先生をお招きし、認知症の人の想いや、家族の想い、援助職が関わる上で大切にすべき点など幅広く学べたらと考えております。

つきましては別添のチラシにて詳細をご確認の上、参加方よろしくお願い致します。

記

日時 平成26年10月18日(土曜日) 13:00~受付開始
場所 隼人農村環境改善センター
内容 『支える側が支えられるとき』～認知症の母が教えてくれたこと～
参加費 無料
申込み 別添申込書より(定員300名)

問い合わせ
始良伊佐グループホーム協議会
事務局 有馬修美
TEL: 0995-23-0133
FAX: 0995-23-0354

2014 認知症セミナー

参加費
無料

- ◆ 日付：平成26年**10月18日**(土)
- ◆ 場所：隼人農村環境改善センター（多目的ホール）
霧島市隼人町内山田1丁目14番10号
☎0995-42-1911 Fax0995-43-5380
- ◆ 定員：300名

- ① 13:00-13:30 受付
- ② 13:30-13:35 開会の挨拶
- ③ 13:35-14:00 オープニングセレモニー 太鼓坊主(てこぼうず)蒲生町
- ④ 14:00-16:00 講演 藤川幸之助氏 **テーマ**「支える側が支えられるとき」
～認知症の母が教えてくれたこと～
- ⑤ 16:00-16:05 閉会の挨拶

講師：詩人・児童文学作家 日本児童文学者協会会員



藤川幸之助氏

認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続ける。

著作に、『徘徊と笑うなかれ』（中央法規）、
ポストカード詩集『命が命を生かす瞬間』（東本願寺出版）、
詩文集『まなざしかいご 認知症の母と言葉をこえて向かいあうとき』
『京都新聞社』（中央法規）、等多数。

「扉」とびら 藤川幸之助 『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）より

認知症の老人たちの中で 静かに座って私を見つめる母が 涙の向こう側にぼんやり見えた
私が帰ろうとすると 何も分かるはずもない母が 私の手をぎゅっとつかんだ
そしてどこまでもどこまでも 私の後をついてきた
私がホームから帰ってしまうと 私が出ていった重い扉の前に 母はびったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた それでも母を老人ホームに入れたまま 私は帰る
母にとっては重い重い扉を 私はひょいと開けてまた今日も帰る

対象者

介護従事者・医療従事者・一般の方々、その他どなたでも結構です。
（但し、事前申し込みが必要です。尚、申し込みが300人に達した時点で、締め
切らせていただきますのでご了承下さい。裏面の申込用紙でお申し込み下さい。

【連絡先】：グループホーム鈴蘭 TEL：0995-23-0139（有馬）

主催：始良伊佐グループホーム協議会
共催：日本認知症グループホーム協会鹿児島県支部



